

看護

目標

疾患・障害などを理解し観る・触れる・傾聴する姿勢を大切に利用者様個々の状態に適した対応・処置を行い予防看護に努める

1. 他職種スタッフと情報交換・共有・連携を持ち、利用者様の生活を支援していきます
2. 情報収集、確認してきた内容をもとに分析した情報を共有し連携をとっていきます
3. 異常の早期発見や適切な処置が行えるようにフィジカルアセスメントを励行します
4. 内服薬に関する管理とインシデント発生を予防していきます
5. 標準予防策を基本とした清潔手技と他職種スタッフへの指導と感染拡大を防止します

年間計画

1. 会議・委員会では、看護の視点、医療面などを説明する場面では、相手にわかりやすく根拠のある説明、積極的な発言、相談は早急に回答する
2. 年間研修会(看護担当)で利用者様のケアや生活に他職種スタッフが実践できる内容を考えた研修会を実施する
3. 情報共有の手段として、ノート・PCを活用し、必要な内容を誰が見てもわかりやすく記載、入力し、確認を行う
4. フィジカルアセスメントを実施し情報と合わせ総合的に判断し適切な対応・処置をする
5. 食事前後の内服薬確認ルールが適切に実施されているか確認、声かけを行いインシデントを未然に防止する。インシデント発生時は、発生状況、環境、個々の行動、ルールの見直しを行い原因分析し対策に繋げていく
6. 内服薬に関して担当についた者は、薬事情報を確認しながらダブルチェックを基本とし院内処方管理はメモを残し分かりやすいようにセッティングしスタッフに周知する。定期薬整理日の担当者に受診、緊急受診、入院などの対応が生じた場合は、担当以外で内服薬の整理を行い薬事情報の確認と責任を持ち整理を行い担当者へ引き継ぎを行う
7. 標準予防策を意識し感染症に適した感染防止対策、拡大防止策の対応など専門職として指導していく